

(県政・厚木・大和・相模原記者クラブ同時送付)

県立さがみ緑風園の現場訪問の結果について

平成 25 年 7 月 1 日 (月) の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、相模原市南区にある県立さがみ緑風園を訪れました。

重度の身体障害がある利用者の日中活動の様子などを視察し、利用者及び利用者の家族、職員との意見交換を行いました。



身体障害の状況は、利用者ごとに異なります。「その人らしい暮らし」を実現するため、多彩なプログラムで毎日の生活のリズムを保ち、うるおいと生活意欲を喚起していけるよう個別支援プログラムの充実に努めています。

A L S (筋萎縮性側索硬化症) *
発症後、当園に入所し、人工呼吸器を装着することとした利用者と話しました。この方は、家族の介護負担を考え、人工呼吸器を装着するかどうか悩み抜いたということです。

当園では 24 時間体制で医療ケアと介護の支援が受けられます。



入所している身体障害者の重度化・重症化・高齢化が進んでいます。進行性疾患や全身管理が必要な利用者が増え、医療依存度が高くなってきている状況について、説明を受けました。利用者の外来通院も必要となっており、医療機関との連携の重要性も高まっています。

利用者数名が熱心にリハビリに取り組んでいました。医師の指示のもと理学療法士・作業療法士が機能維持目的の訓練や車椅子など福祉機器の導入・調整にあたり、利用者の生活の質を高める支援を行っています。



利用者と利用者の家族及び利用者の生活支援、医療ケアに当たっている職員と意見交換をしました。重症化・重度化が進む身体障害者支援のあり方や医療との連携などが話題になりました。

<用語の説明>

* ALSとは

筋萎縮性側索硬化症。

運動神経が障害(=変性)されるため、全身の筋力が低下、身体はまったく動かせなくなり最終的に呼吸筋麻痺により死亡する。

根治療法はなく、対症療法により延命がはかれる。

(問い合わせ先)

神奈川県保健福祉局福祉部障害サービス課

課長 山崎 グループリーダー 千葉

電話(045)210-4702、4705

FAX(045)201-2051